

社会資本整備総合交付金 事後評価シート(原案)
巻潟東インター周辺地区都市再生整備計画

平成24年9月

新潟県新潟市

様式2-1 評価結果のまとめ


都道府県名	新潟県		市町村名	新潟市		地区名	巻潟東インター周辺地区都市再生整備計画			面積	612ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成24年11月		交付対象事業費	1,832百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(一般国道460号(漆山)・主要地方道長岡栃尾巻線・一般県道佐渡山巻線(馬堀拡幅)・市道漆山打越線・市道巻1-48号線・市道巻1-49号線・市道巻1-50号線・市道巻1-74号線・市道巻1-77号線・市道国見大曾根線)、公園(大通川公園)、地域生活基盤施設(賑わい広場・駐車場・自転車等駐車場)、高質空間形成施設(バリアフリー対応公衆トイレ)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(バス待合施設等整備・公共交通利用促進PR)、まちづくり活動推進事業(賑わいイベント等運営協議会・コミュニティバス運行社会実験)									
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	新たに追加した事業		基幹事業	なし			—			—			
			提案事業	なし			—			—			
交付期間の変更		当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—					
		変更	—										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	まちづくり交流イベント回数	回/年	0	H18	10	H23		10	○	あり なし	地域活動の場が創設されたことにより、地域一体となった活動が可能となった。	平成24年12月
	指標2	インター周辺路上駐車台数	台/日	60	H18	0	H23		0	○	あり なし	駐車台数を確保するだけでなく、市道幅を工夫することで路上駐車がなくなった。	
	指標3	交通事故発生件数	件/年	92	H17	80	H23		42	○	あり なし	一体的に歩道・交差点改良が行われたことにより安全な生活基盤が構築された。	
指標4									あり なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	交差点渋滞延長	m	400	H18			0			右折車線が確保されたことにより、通勤時間帯の渋滞延長が大幅に改善された。		
	その他の数値指標2	駐車場利用者満足度	%	0	H18			97			満車の心配がなくなるなど駐車台数に関わる満足度が高かった。		
	その他の数値指標3	路線バス乗り入れ系統数	本	0	H18			5			周辺を通る路線バスが駐車場バス停留所に乗り入れることで利便性が向上した。	平成24年10月	
その他の数値指標4	ウォーキングコース設定数	コース	0	H18			4			公園と周辺道路の歩道が整備され、周遊コースの設定が可能となった。	平成25年3月		
4)定性的な効果発現状況	<p>・巻潟東インター周辺の歩道は、3地区(旧3町村)に跨っており連続的に効果的な整備ができずいたが、本事業を取り組むことにより地域全体の安全性と利便性が向上した。</p> <p>・送迎により高速バスを利用していた人は、整備前は暗い路上で待ち合わせていたが、待合施設や送迎スペースができたことと照明設備が充実したことにより、安心して家族の迎えを待つことができるようになった。</p> <p>・パークアンドライドの推進により、都心部渋滞の解消や環境負荷の軽減に役立ち、またマイカーから公共交通機関への変換により心のゆとりが生まれるなどの効果がある。</p> <p>・巻潟東インター周辺が整備されたことにより、西蒲区の拠点駅である巻駅と巻潟東インターチェンジを結ぶことにより、整備エリアだけでなく西蒲区全体の公共交通の活性化と利便性向上に向けた取り組みを推進することができる。</p>												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	賑わいイベント等運営協議会			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 賑わい広場の継続的な利用を促すため、行政側による後方支援が必要である。				
	持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要


巻湯東インター周辺地区都市再生整備計画(新潟県新潟市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	【大目標】 豊かな暮らしと地域間の連携を実現する拠点づくり 目標1: 地域間連携の強化に向けたまちづくり交流拠点の創造 目標2: 交通結節機能と連携した都市基盤の整備 目標3: 地域住民の安全性、快適性、利便性の向上	まちづくり交流イベント回数	単位: 回/年	0	H18	10	H23	10
	インター周辺路上駐車台数	単位: 台/日	60	H18	0	H23	0	H23
	交通事故発生件数	単位: 件/年	92	H17	80	H23	42	H23
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H


駐車場整備

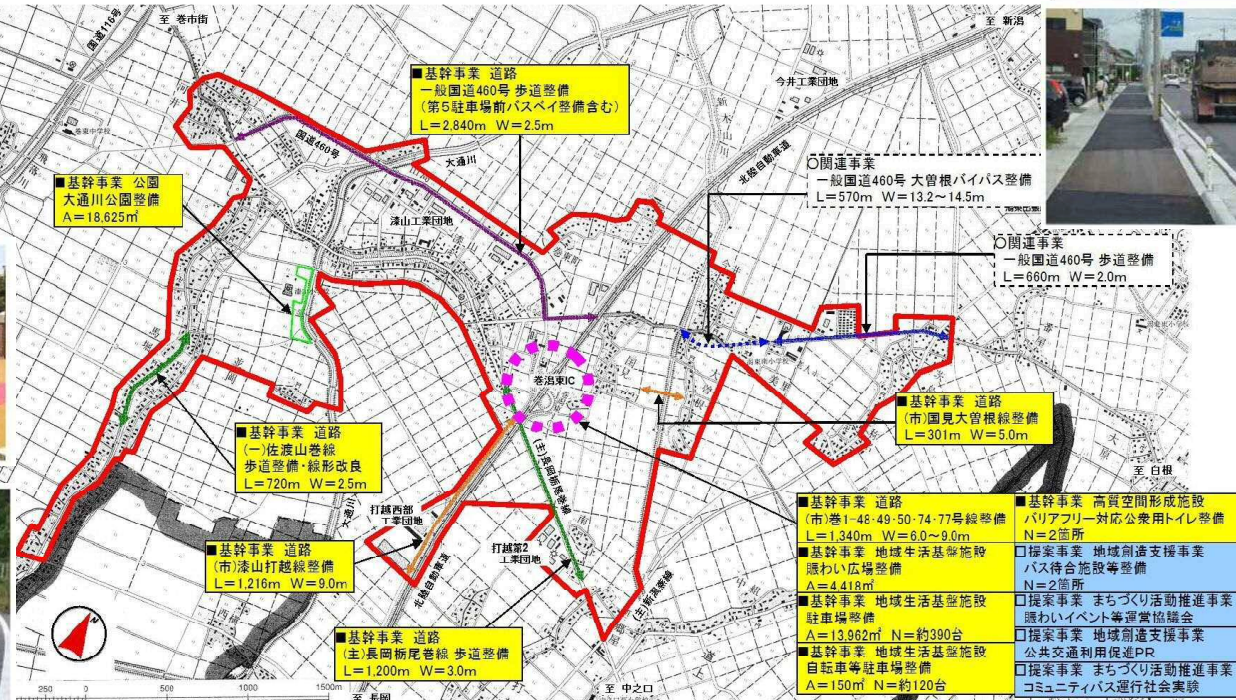


賑わい広場




(市) 巻148号線







(主) 長岡栞巻線(歩道)



(一) 佐渡山巻線(歩道)



(市) 漆山打越線(交差点改良)



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 新潟市の西の玄関口として、地域の一体化促進に向け、巻湯東インターから放射的に広がる道路網については一体的に整備された。また、交流活動の場となる広場も整備され、旧町村間の垣根を越えた活動が可能となった。 交通結節点として、周辺の道路や公園、駐車場が整備されたことにより機能強化が図られた。 地域間を超えて一体的に歩道整備や交差点改良が行われたことにより安心で安全な生活基盤の整備が図れた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動を行うために、現在整備されている助成金制度の周知を行うなど行政による後方支援も必要である。 交通ボランティアなどを利用した交通安全対策も必要である。 一部未完了の国道460号歩道、一般県道佐渡山巻線歩道、市道漆山打越線を整備し、都市基盤の強化を図る。 一部未完了の国道460号歩道、一般県道佐渡山巻線歩道を整備し、交通安全対策を図る。